



図書館だより



2019年10月号 NO. 360

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

TEL 0293-42-1451

秋です！

秋といえば「読書の秋」「スポーツの秋」そして読書週間です。

文化の日をはさんだ2週間、10月27日から11月9日まで読書週間です。

読書週間の源流は、1924年（大正13年）。大量の出版物が焼失した、関東大震災からの復興期に日本図書館協会が、全国で読書の鼓吹・図書館文化の普及・良書の推薦などの目的とした行事を展開し、のちに「図書館週間」と名付けられ年中行事として定着しました。しかし、昭和14年「一般週間運動廃止令」により、その幕を閉じることとなりましたが、昭和22年終戦の2年後「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と出版社、書店、公共図書館等が力をあわせ、新聞、放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から第1回読書週間が開催されました。翌年の第2回からは文化の日を中心とした2週間と定められ、全国に広がりました。



今年で73回目を迎える読書週間ですが、初日となる10月27日（日）は「図書館まつり」が開催されます、日頃から図書館をご利用いただいている皆様には、さらに楽しんでいただけるよう、またこの機会に一人でも多くの方に図書館に足を運んでいただきたいと思っています。

今年の読書週間の標語は「おかえり、葉の場所で待ってるよ」です。日々の時間と環境は本当に早く過ぎ去ってしまいますが、本の世界はいつもあなたの帰りを待っていてくれます。図書館も皆様の帰りをお待ちしております。

b y 左利き



《 図書館カレンダー 》 印は、休館日です。

★ 開館時間 午前9時30分～午後6時 ★



☆ 2019年10月 ☆

☆ 11月 ☆

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

★ YABOOKご紹介 ★

『化石ハンター』

恐竜少年じゃなかった僕はなぜ恐竜学者になったのか？

児童書 457コ 小林 快次 / 著 PHP研究所

恐竜は約6600万年前に絶滅したのに、実はその子孫は現存している！！
2億年ぶりの出会い…。

小学生時代は、お寺に行っては時間を忘れて仏像を眺めているのが好きだった著者。それがなぜ恐竜学者となったのか？ これまでの人生について、そして恐竜が教えてくれたことを伝えてくれます。

☆小林さんにとって恐竜の魅力とは…「命のつながり」を感じさせてくれること。夢になる可能性があるものは、そこらじゅうに落ちている。自分が面白いと思うことをやることが大事。「いま何ができるのか」を意識してほしい。「好き」は後からついてくる。 (^^)v

by ドラ



★ 図書館員のひと一言 ★



「秋っていいな。秋を楽しみましょう！」

残暑も終わり、季節は秋へと移りました。

私は四季の中でも、特に秋が好きです。暑がりなので、涼しいのもありがたいですし、食事もおいしくて魅力的です。

ふと、自分を振り返ると、夏が好きな子どもでした。夏の明るくて前向きな雰囲気、心をワクワクさせていたのを思い出します。昆虫を捕まえたり、プールで遊んだり、いろんなことをしたなあ。食べ物の好みと同じように、季節の好みも変わっていくのかもしれない。

また、秋はスポーツや芸術と並び、読書に親しみたい季節ですね！

本が好きな方も、そうでない方も、普段自分では読まないような本を一度手に取ってほしいなと思います。そんな私も、いつもなら素通りしてしまう1冊に触れました。

『はるとあき』

児童書E ハル 齊藤 倫 / 作 うきまる / 作 吉田 尚令 / 絵 小学館

四季を女の子や男の子に見立てて、前後の季節同士が触れ合う様子を描いています。

「はる」と「あき」は重ならないため、お互いに顔や性格を知りません。相手のことを知りたい2人は、それぞれ次の季節に手紙を託し、そこから、姿の見えない相手を想像していきます。季節の個性や雰囲気が可愛らしく描かれていて、読みながらほっこりさせてくれます。

運動の秋、川浴いをお散歩がてら、ぜひ図書館まで足を運び、季節を感じる1冊、普段出会わない本を探してみませんか。

by ゴジ



◇ 営繕かや怪異譚 その式 ◇

一般書 913.6 オ / 小野 不由美 / 著 角川書店

怪異はひそむ。なんの変哲もない日常の中に。

古い家に。街並みに。たくさんの人の手を経てきた道具に。打ち遣られた廃墟に。

怪異に悩んだら、営繕屋を呼ぶといい。綻びた住居ともども、鮮やかに修繕してくれる。

ただし、自分でも気付かなかった、身の内に居座る傲慢や浅慮、記憶の底で眠っていた後悔や苦悩とも、否応なしに向き合うはめになるけれど。

by ミカゲ

◇ きみの存在を意識する ◇

児童書 913 + 梨屋 アリエ / 著 ポプラ社

本を読むことが極端に苦手な石崎ひすい、石崎家の養子でひすいの弟の拓真、書字に違和感を覚える心桜、自分は「自分」であって男にも女にも分けられたくない理幹、学年でトップクラスの成績で優等生の小晴、過敏症でみんなと同じ教室で授業を受けられない留美名。同じ学校に通う中学2年生の彼らは、それぞれ他人には理解し難い悩みを抱えていた。

各章ごとに語り手が変わっていく連作の短編集です。主人公たちと同じ年頃の方はもちろん、大人の方にも読んでいただきたい作品です。

by みーやん

◇ だいすきな先生へ ◇

児童書 Eダイ テボラ・ホフキンソン / 文 ナンシー・カーペンター / 絵 評論社

----- しんあいなる先生へ わたしを おぼえていらっしゃいますか。-----

二年生のクラスの先生を、わたしはいつも こまらせていました。でも、先生は、しからずに、すばらしい一年間の思い出をくださいました。

★主人公の女の子がおとなになり、先生への思い出を手紙にかきました。子どものときは、じょうずに伝えることができなかつたけれど、感謝の気持ちがあふれている手紙です。

学校の先生にも読んでいただきたい絵本。

by ビクトリア

◇ 本屋のラク ~ 9回生きたねこのはなし ~ ◇

児童書 Eホン くどう かずし / 文 やまぐち ぴこ / え 出版ワークス

黒い子ねこは、本屋さんの本棚に勝手に座り込み、そのまま飼われることに。名前を「ラク」とつけてもらい、本屋の男の子ソウタと仲良しになりました。何をするのも一緒、でも時々いなくなるラク。そんなラクにソウタはある約束事を言います。それからしばらくすると、ラクは天国へと旅立ちました。天国でラクは女神様から9回の生命（いのち）があるとわれ何度も何度も生まれ変わりソウタに会いに行きます。ソウタには気づいてもらえるのか……。約束事は思い出せるのか……。

by チッピー



「図書館まつり」を行います！

★ 10月27日(日) 午前9時30分 ~ 午後4時 ★

【リサイクル本市】 * 寄贈本や除籍本などを、1人10冊まで無料で差し上げます。
本を入れる袋等を持参してください。

【一日図書館員】 * 市内の小学生が、図書館の仕事を体験します。

【ブックコート】 * お気に入りの本にカバーをおかけします。カバーをかけたい本を持参してください。※ 先着20人、1人1冊です。

【クイズコーナー】 * 図書館の本を使って答えを探してください。
全問正解した方には、景品を差し上げます。

【手作りカードコーナー】 * 小さなお子さんも参加できます。



☆ ぽっぽの
おはなし会 ☆
午前11時~ 1階おはなし室

☆ エプロンヒロ子さんの
エプロンシアター ☆
午後1時30分~ 1階おはなし室

「おはなし会」のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

10月2日(水)、9日(水)、16日(水)、23日(水)
午前10時 ~ 10時30分

★ エプロンヒロ子さんのエプロンシアター ★

10月12日(土) 午前10時 ~ 10時30分

★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

10月26日(土) 午前10時 ~ 10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

10月30日(水) 午前10時 ~ 11時



すべて 参加自由・
無料です。会場は、1階
おはなし室です。

「第13回図書館バードウォッチングの会」

★ 11月10日(日) 午前10時 ~ 正午 ★

* ウォーキングロードと図書館屋上で行います。

(雨天時は、図書館2階ひだまり交流テラス)

* お申込みは不要です。 * 時間内、途中参加OKです。

